

事業計画書作成は申請者自ら作成し、商工会議所又は商工会の指導を受け、3ページ以内で作成ください

第4号様式（第6

鹿屋市新商品開発等設備導入支援事業補助金事業計画書

従業員数の定義は手引きの3ページをご参照ください

事業所名	株式会社 ○○クリーニング		
業種	クリーニング業	従業員数	4人
購入機器名	衣類受渡用ロッカー	購入金額（税抜き）	750,000円
企業概要	当店は衣類や寝具類のクリーニング、靴やバッグ等の特殊クリーニングを行っており、業歴は約45年（昭和○年開業）で、地域内でも老舗のクリーニング店である。		
現状・課題	クリーニング業界は大変厳しい状況が続いており、家庭用洗濯機や洗剤等の高性能化もあり、各世帯のクリーニング離れは顕著である。特に若い世代のクリーニング店活用の意識は低い傾向にあり、それに加え、コロナによる社会情勢の変化や、原油・物価等が高騰し、売上や利益率が減少している。今後は、このような社会情勢の中で若者等を如何にして顧客にできるかが課題であり、いつでも手軽にクリーニング店に訪れられるようなサービスを展開していきたい。		
事業の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 新商品（新サービス）の開発のため <input type="checkbox"/> 事業再構築（新分野展開、業態転換）のため <input type="checkbox"/> 事業基盤整備・事業拡大のため ※創業2年以内の事業者が対象		
補助事業で取り組む内容	<u>感染症等の対策として非対面型の衣類受け取りサービスを開始させるため、衣類受渡用ロッカーを3台導入し、顧客ニーズにいち早く対応することで競合他社との差別化を図る。更には、利用頻度の少ない若年層の取り込みや営業時間内にとらわれない利便性の高いサービスを提供することで新たな顧客の獲得につなげる。</u>		
機械等導入スケジュール	【契約・発注】 令和5年9月下旬頃 【納品】 令和5年10月中旬頃 【支払】 令和5年10月下旬頃		
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 人との接触を避けているお客様にもご利用いただけるようになり、出し控えていた冬物衣類のクリーニング品のご依頼を取り戻すことができる。 ● ロッカー受け渡しを利用することで来店客の集中を避けることが期待でき、三密を避けた安全な接客が可能になる。 ● 営業時間外での受け渡しを可能とすることで、時間的な制約で当店をご利用いただけていなかったお客様からもご依頼いただける。 		

購入機器を活用し、どのような事業を実施するのかを明確に記載すること。

- 営業時間の短縮も可能となり、人件費、光熱費等の経費節減にもつながる。

(今後の目標)

ロッカー 導入後	1日平均来店客数 (現状は約40人)	月間売上 (現状は約240万)
1ヶ月後	45人	270万円
2ヶ月後	50人	300万円
4ヶ月後	60人	360万円

(内訳) 一人当たりの客単価2,000円

月の営業日数は30日間とし、売上を算出。

新サービス開始にあたり、広告チラシやHPを活用して事業周知を図り、ロッカー導入4カ月後には1日60人の来店客数を目標とすることで月間売上360万円を計上することができ、これまでの月間売上240万円に対して、売上を30%以上向上させることにつながる。

以上のとおり、本補助金を活用し、新サービスを展開していくことで、売上向上を実現することが可能で、雇用の継続や地域経済の活性化のためにも、先駆的な経営を進めていきたい。

事業効果欄には「事業計画における目標数値基準」を満たしていることを明確にご記入ください。

※目標数値基準は、手引きの5ページをご参照ください